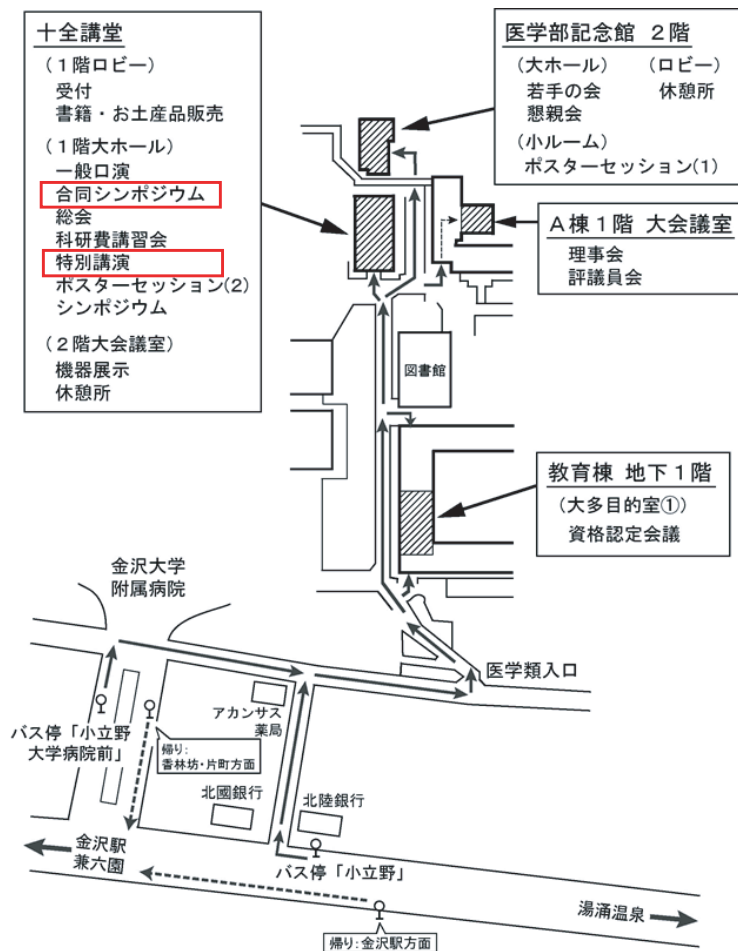


【会場までの案内図】



問合わせ先：日本生理人類学会第68回大会実行委員会
 〒920-8640 石川県金沢市宝町13-1
 金沢大学 医薬保健研究域医学系
 運動生体管理学内
 TEL: 076-265-2227 FAX: 076-234-4219

印刷：株式会社小林太一印刷所 金沢市湊1丁目110番地

日本生理人類学会第68回大会

大会長／藤原勝夫
 金沢大学医薬保健研究域医学系

**一般参加
無料**

会場／金沢大学医学部十全講堂 大ホール

公開

第8回人類学関連学会協議会・合同シンポジウム
「人間の姿勢とロコモーション様式の特徴」

日時 平成25年6月8日(土) 13:30～15:30

特別講演

「脊椎動物の平衡制御、原理と盲点」

高橋正紘 (めまいメニエール病センター)

日時 平成25年6月9日(日) 13:00～14:00

日本生理人類学会の北陸での大会は、初めてとなります。金沢大学医薬保健学域医学類は、文久2年(1862年)加賀藩種痘所をその起源とし、昨年150周年を迎えました。このように古い歴史のある本学において、日本生理人類学会第68回大会を開催できることは、光栄の至りであります。



金沢大学医学館第1期生群像

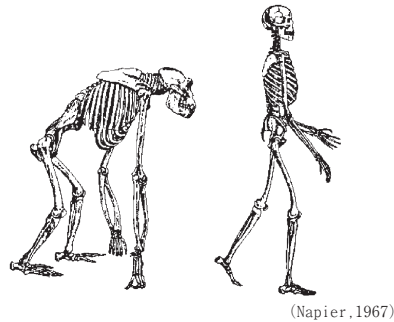
主催／日本生理人類学会第68回大会実行委員会
 後援／石川県、金沢市、金沢大学十全医学会

「人類の姿勢とロコモーション様式の特徴」

日時／平成25年6月8日（土） 13:30～15:30

会場／金沢大学医学部十全講堂 大ホール

古くから問題とされてきた直立二足歩行について、新たな人類学的視点が見いだせるものと期待しております。



シンポジスト

- JS1 中野良彦（大阪大学・日本霊長類学会）
「霊長類の樹上運動とヒトの直立二足歩行の進化」
- JS2 野村雅一（国立民族学博物館名誉教授・日本文化人類学会）
「手がヒトの最初の道具だとしたら、足は何なのだろう？」
- JS3 松村秋芳（防衛医科大学・日本人類学会）
「ヒト上科の運動行動における左右性の機能分化」
- JS4 昆 政明（神奈川大学・日本民俗学会）
「和船の操船と身体技法」
- JS5 藤原勝夫（金沢大学・日本生理人類学会）
「床振動時の片足立ちの安定性と足踏み時の注意配分の一側優位性」

「脊椎動物の平衡制御、原理と盲点」

高橋正紘（めまいメニエール病センター）

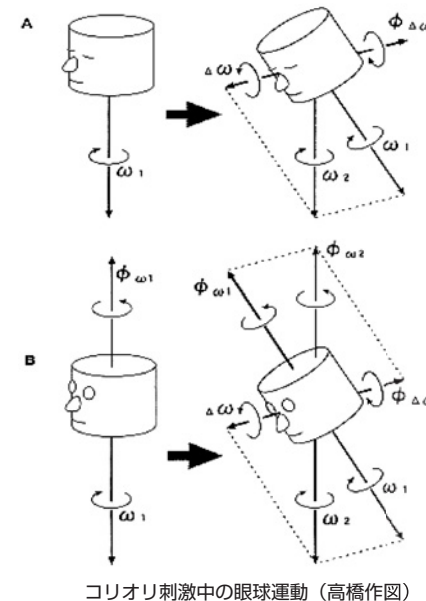
日時／平成25年6月9日（日） 13:00～14:00

会場／金沢大学医学部十全講堂 大ホール

めまいの進化上の起源などについて、興味あるお話が伺えます。

講演要旨：ヒトは三次元空間を二足歩行し走り、少しも揺らがないが乗り物に酔う。類似の現象はサカナで確立し、水中を巧みに移動し移動空間で酔う。演者は実験的動揺病、コリオリ刺激中の眼球と姿勢の解析から、能動と受動の違いを明らかにした。脊椎動物の平衡系は複雑に進化したのが、原理上大きな盲点があり、乗り物酔いと深く関わる。

※コリオリカとは、回転系において運動する物体に働く見かけ上の力（転向力）のことです。



高橋正紘先生のご好意で、ご自身がご執筆された著書「動揺病」をお渡しします。（冊数には限りがあります）